

平成26年度 桜丘地区まちづくり検討会での意見の整理とまとめ

セルリアンタワー周辺の通り

- （仮称）大和田蛇崩れ通り（歩行者ネットワーク図 道路 ）について
- ・自動車の交通量の増加とスピードの防止策が必要である。

桜丘地区地区計画区域境界の通り

- （仮称）西郷馬車道通り（歩行者ネットワーク図 道路 ）について
- ・現在、自動車の交通量が多く、一方通行と両側通行の交通規制のため違反も多いため、歩行者の安全性を確保する。
 - ・補助第18号線整備にあわせて、全線一方通行や、コミュニティ道路の整備など、生活優先の道路として検討してもらいたい。
 - ・整備に関しては、地区外である道路の反対側との調整が必要である。
 - ・代官山ステキなまちづくり協議会と協力する。

南平台との区域境の通り（歩行者ネットワーク図 道路 ）について

- ・整備に関しては、地区外である道路の反対側との調整が必要である。

その他の道路

国道246号の横断について

- ・国道246号と補助第18号線の交差点の右折禁止を改善してほしい。
- ・国道246号と補助第18号線の交差点は、歩行者と自転車が地上で横断できないか。
- ・国道246号と補助第18号線の歩道橋は、オリンピックまでに、整備してもらいたい。
- ・国道246号の南平台の交差点は、地上横断できるようにならないか。

3 そのほか

- ・災害時の避難場所など、災害時の考え方を教えてもらいたい。
- ・無電柱化の検討を実施してもらいたい。
- ・ゲリラ豪雨対策を実施してもらいたい。
- ・屋外広告物のルールが必要である。
- ・通りの名称を考える。
- ・案内板等のサインを設置する。特色ある街路灯を設置する。
- ・ゴミ出しの収集時間をまもる。

桜丘地区まちづくり検討会に関するお問い合わせは

渋谷区 都市整備部 渋谷駅周辺整備課 桜丘地区 地区計画担当まで

Tel 03-3463-2649（ダイヤル） Fax 03-5458-4918

1 桜丘地区の将来像・土地利用について

桜丘地区全体

高度利用を図り、住宅、業務、商業、環境の良いまちづくりを行う。

住宅、商業、業務がバランス良く、ヒューマンスケールの土地利用を行う。

開発ばかりではつまらないまちになる。東京のゴミゴミした所も街の活気には必要である。

まとまったまちなみとなるように検討する。

桜丘地区の将来の予測（人口、来街者など）を明確にして、まちづくりを検討する。

住み続けられるまちを確保する。

歴史を感じるまちに、回遊して楽しいまちに。

渋谷から代官山につなげるみどりのネットワークづくりなど、都市と自然の共生が重要である。四季を感じる花や木を植える。桜並木を増やしてほしい。

多様な広場が必要。（憩う、楽しく集う、イベントができる、防災・避難、夜は明るく・安全など）

A地区

現在の雰囲気や魅力を残すようなまちづくりを考えてもらいたい。

個性的な店を活かし、特徴のある店を誘導する。

- ・シェフの顔が見える店、音楽のマニアの店、アーティスト関係の店、文教関連施設、SOHO など
- ・飲食と物販のバランスを考える

快適な都心居住が可能となる環境づくりやコミュニティづくりにより、住みたくなるまち、出かけたがたいまちを目指す。

さくらを活かし、どこからでもさくらがきれいに見えるように、まちを特徴づける。

坂道を活かし、きれいな道路にする。

補助第18号線沿道は、再開発事業に連続してまちづくりを進める。まちを印象づける工夫をした街並みづくりが必要である。

（仮称）中央通りなど、道路の拡幅整備は、土地の高度利用とあわせて検討する必要がある。



B地区・C地区

にぎやかなA地区から、おしゃれな代官山・南平台へとつながるので、景観を重視した魅力的な街にする。

危険がない路地は活かして、味わいやゆとりのある魅力的な地区にする。

「この地区ならではの」という特徴のある店舗が集積できるようにする。また、中小企業の活躍を育むようなまちになってもらいたい。

B地区・C地区と後背地は、居住者が多い地区であり、回遊性を考えることが重要な地区である。

B地区とC地区は分ける必要はないのではないかと。

B地区は、古い建物が多いため、建替えしやすいようにインセンティブのある計画づくりを検討する。

(仮称)中央通りは、老朽建物が建替えやすいように、街並み誘導型地区計画をつかったまちづくりを検討する。

C地区は、容積率をアップしてもらいたい。

建ぺい率と容積率の制限や高さの制限は厳しくする。

高層ビルの乱立は避ける。総合設計制度については、まちのコンセプトとの整合性を図る審査が必要である。

2 桜丘地区の交通ネットワークについて

桜丘地区全体

桜丘口地区再開発事業により、駅周辺地域は大きく変化することから、昼間人口の増加などによる人の流れ、自転車の交通、自動車の交通など、桜丘地区の将来のまちを考えた交通体系やネットワークの検討が必要である。さらに、桜丘地区の後背地も含め、広域のネットワークについても検討が必要である。

例：自転車駐輪場、自転車レーン、レンタサイクルのシステムなど

道路の拡幅整備は、建替えにあわせて実施する方策、沿道地権者に協力してもらえる方策も検討する。

「渋谷駅桜丘口地区市街地再開発事業」に関連する通り

補助第18号線（歩行者ネットワーク図 道路 ）について

- ・通過交通により、自動車の交通量が増加することは防止する。
- ・補助第18号線の横断については、歩行者が安全にできるようにする。(ミニスクランブル等)
- ・再開発事業区域以南についても、再開発事業と同時に整備を実施してもらいたい。

元医師会館脇の通り（歩行者ネットワーク図 道路 区画道路3号含む）について

- ・現在、自動車の交通量が多いので、歩行者の安全性を確保する。
- ・補助第18号線の整備に伴い、交通規制の変更も併せて、歩行者の安全性を確保する。

(仮称)東西通り東側（歩行者ネットワーク図 道路 区画道路2号含む）について

- ・区画道路2号含めた通りは、自動車の交通量が多いので、歩行者の安全性を確保する。また、広場が整備されるので、違法自転車の規制や取締りが必要である。

「(仮称)中央通り」に関連する通り

(仮称)中央通り（歩行者ネットワーク図 道路 ）について

- ・A地区とB地区をつなぐ道路であるので、道路拡幅や交通規制等を併せて検討する。

- ・道路上での荷さばきを防止するために、駐停車の規制や取締りが必要である。
- ・歩道が急勾配で、狭くて、電柱もあるため、歩行者（高齢者・車いす含めて）の安全性を確保するように整備が必要である。
- ・補助第18号線の整備に合わせて、通過交通により、自動車の交通量が増加することは防止する。また、交通規制の変更はあるのか。
- ・ウエスト地区の開発とあわせて整備を行う。

(仮称)東西通り西側（歩行者ネットワークの図 道路 文化総合センター大和田前）について

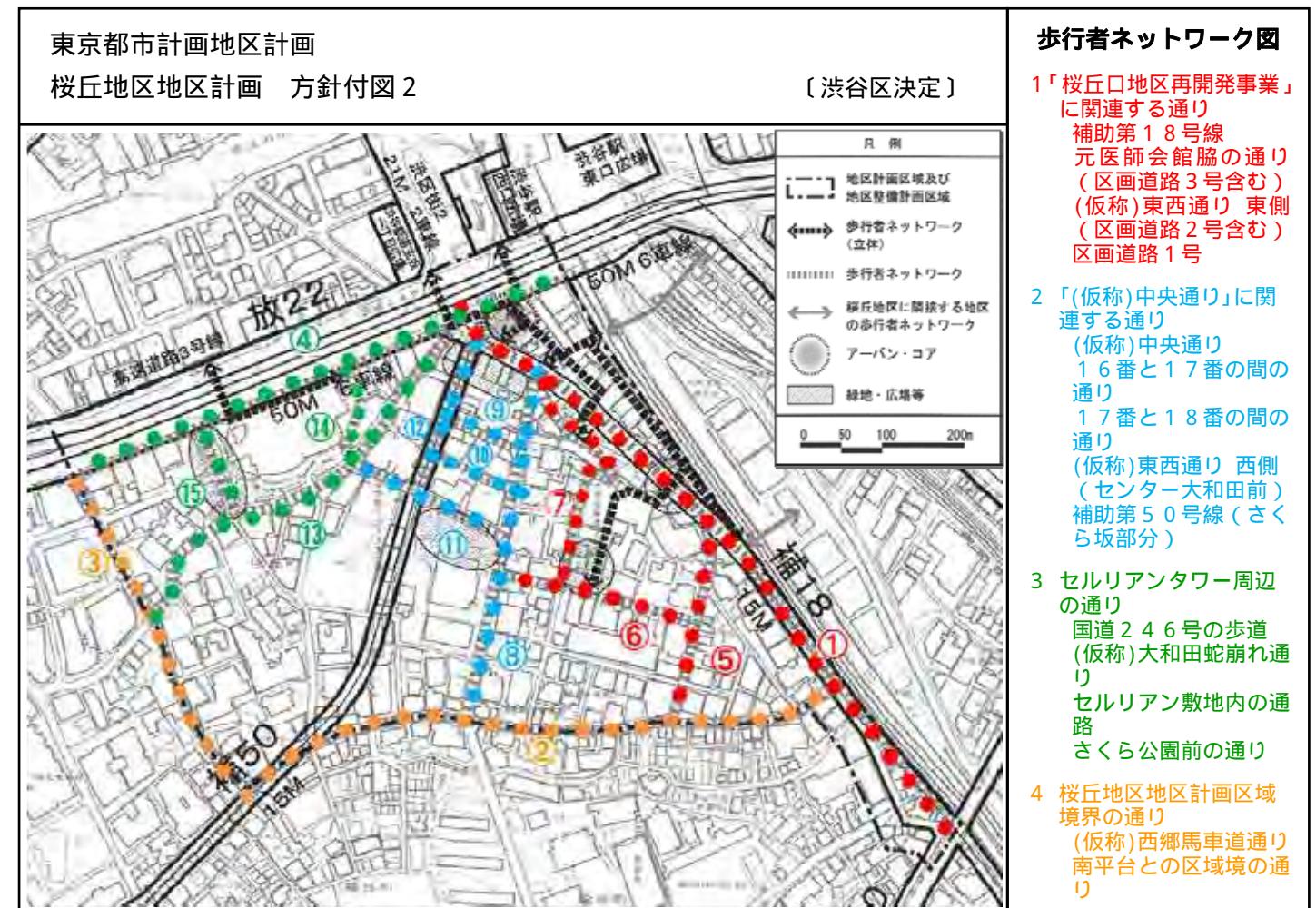
- ・インフォスターの北側部分の交通渋滞を緩和する。また、沿道の駐輪場の必要があるのか。

補助第50号線さくら坂部分（歩行者ネットワーク図 道路 ）について

- ・交通渋滞が激しい（とくに補助第18号線との交差点部分）ので緩和が必要。
- ・補助第18号線の整備に合わせて、交通規制の変更はあるのか。

補助第50号線南側（歩行者ネットワーク図 道路 ）について

- ・都市計画道路の事業化の有無や廃止について、情報提供してもらいたい。



この資料の地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2,500の地形図を複製したものである。無断複製を禁ずる。(承認番号)25都市基交測第192号、平成25年12月16日

この背景の地形図は東京都と株式会社ミッドマップ東京が著作権を有しています。(許諾番号)MMT利許第056号-22
 この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺1/2,500の地形図(道路網図)を使用して作成したものである。ただし計画線は、都市計画道路の計画図から転記したものである。無断複製を禁ず。(承認番号)25都市基交測第196号、平成25年12月17日